(No.5)
平成17年5月31日（通巻155号）
# コスモス通信
発 行 所▶大阪府グラフィックサービス協同組合
コスモス会
編集責任▶コスモス会事務局

## 文字文化の世界的な歴史を学ぶ

5月13日(金)、25名が参加し、㈱モリサワ見学会&セミナー「近代活字誕生からDTPの登場まで～語り継がれる文字組版の重要性～」が開催されました。

東京と結んでIT会議を体験

貴重な資料の数々

森澤会長の説明に周近で見入る会員

写植教室に通う頃から「モリサワ」という社名は存じ上げていた。日頃使用している書体とは随分と異をなすことから自分なりに文字そのものに東と西を感じていたことも事実である。当時は暇さえあれば、本屋に通いありとあらゆる本を手にし、タイトルの使い方、文字の遊び、間隔、ルールを学習した。

当時の業界の花形企業ともいうべき二社の二人のオーナーに三〇年の期間を経てお会い出来たことに一人で幸せをも感じている。

森澤会長は本当にすばらしい方でした。

IT会議のシミュレーションにも驚きはしたけれど、その後の世界史の授業を受けているかのようなセミナーと蒐集されておられる文献の数々の紹介。「円筒印章」「時祷書」グーテンベルクの「42行聖書」等々を目の当りにした時は感激した。この感激は絶対に忘れることはないと思う。お声がけを頂いた森澤会長はじめ社員の皆様に心から感謝いたします。

世の中は紙社会からWEB社会へと移り、それと同時に年功序列も無くなって来つつあるといわれる。つまり、職人芸という存在そのものが必要でないということかも知れない。寂しく感じるとともに疎外感を感じなくも無い。それでも一つだけ常に思う事がある。「文字を並べるにはルールがあり、常に感性が必要だ」ということ。最近の周りの印刷物を目にするたびに感じる。

そんな中、モリサワの「組み版ルールの教室」が再開されている様子。心から待ちわびていましたし、密かに応援する一人です。粘土文字も絵文字から始まりWEBでも絵文字が流行している。人類の感性のルーツは「絵」なのかも?と思いました。

この企画をお世話頂いたコスモス会の方々、ありがとうございました。

（清原　幸子）

## 大阪府グラフィックサービス協同組合 第35期通常総会開催

㈱イデアル佐藤章氏と議事を進行

5月27日(金)、ハイアット・リージェンシー・オオサカにて大阪府グラフィックサービス協同組合第35期通常総会が開催されました。

通常総会には毎年コスモス会員から議長等が選任されています。今年は、議長に深田倶代さん、書記に菊田章子さんが選任され、それぞれ無事役目を終えました。また、会員はOGS組合員としても多数出席し、総会の受付、懇親会場への案内も手伝いました。

総会後の懇親会は、大阪府印刷工業組合の50周年記念懇親会と合同で開催され、640名程の出席者があり、大変賑やかでした。

## 役員会報告（5月13日）

◆OGS理事会報告
5月27日通常総会の件

◆各部報告
情報部会
6月11日開催の勉強会の件
サロン部会
ヨガ教室・7月後半に変更

◆コスモス通信
掲載記事の打ち合わせ

◆その他
各種案内に対して、《出席・欠席にかかわらず必ず返事を出すこと》を確認しました。
今後はこの約束事を守ってくださいますようお願いします。
次回役員会　6月10日（金）

## 編集後記

新緑の山を歩いていると、どこからともなく良い香りがしてきて、本当に風薫るという表現がぴったりです。花たちは受粉をするためによい香りを出して、昆虫を呼び寄せているのでしょうか。

先日「（株）モリサワ見学会」でいろいろな文字に関する蒐集品を間近で見ることができてとても嬉しく思いました。百万塔陀羅尼経の百万塔は漠然と陶器だと思い込んでいたのですが、木製で、しかも年月が経っているので軽いものでした。貴重な体験をさせていただき、本当に感激しました。（岡本章子）

次号通信は、㈱吉弘サプライ・丘山富江さんの担当です。
よろしくお願いします。